

V. 具体的な施策と実施スケジュール

ここでは、取組みの方向性や他地域の事例を踏まえて、より具体的な取組み等を提案する。なお、ここで提言している組織・商品等の名称は、すべて仮称である。

1. 各団体の連携強化

銚子では、複数の団体が観光活性化のためにさまざまな活動を行っているが、各団体の活動に連携をもたせることが課題となっている。そのため、各団体のつなぎ役・パイプ役を果たせる活動組織を設置することが望ましい。この組織で、各団体が行っている地域活性化活動の内容を把握して、必要に応じて各団体を結びつけることにより、各団体お互いの長所を生かした効果的な活動を支援していく。

組織名は、団体名と活動内容がわかりやすいように「銚子観光かがやき隊」とする。

組織は、今回立ち上げた銚子観光振興協議会を母体とし、メンバーとしては銚子市、銚子市観光協会、銚子商工会議所、千葉科学大学、銚子信用金庫のトップ級で構成する。事務局としては銚子市職員（観光商工課）を中心に、観光協会職員と銚子信用金庫職員が支援することが想定できよう。

想定される組織の活動は以下のとおり。

- まずは銚子市全域を対象に、観光活性化活動を行っている団体の活動の趣旨と内容を調査して、確実に観光活性化活動を行っている先を選定する。
- 次に、選定した先の活動に積極的にかかわりながら、資金確保方法や情報発信方法等について支援する。
- 多くの団体の活動にかかわりながら、団体間で連携が可能な活動や相乗効果の見込める活動を把握し、調整役となって相互に紹介する。

各団体に積極的にかかわっていくことで、本組織が銚子市観光のオピニオンリーダーとしての地位を固めることが期待できる。

(図表V-1) 銚子観光かがやき隊の組織イメージ

